

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0172000366), 法人名 (株式会社道央ケアセンター), 事業所名 (グループホームつつじ2(第1ユニット)), 所在地 (小樽市朝里川温泉2丁目694番4号), 自己評価作成日 (令和4年2月5日), 評価結果市町村受理日 (令和4年3月9日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・自然な環境に囲まれており、暖かい季節には周辺の山の景色や自然の草木を眺めながら散歩を楽しんだり、中庭でお茶を飲んだり、ご利用者様と一緒に中庭で育てた野菜を収穫しています。
・家庭的な雰囲気の中でご利用者様一人ひとりが持っている能力を引き出し、自立した生活を送れるようお手伝いをしています。
・地域の方々の協力を得ながら、交流を深め、地域に密着したグループホーム作りを目指し取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0172000366-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和4年2月15日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1) ホームの環境・介護設備等の状況; 職員は事業理念等を真摯に受け止め、利用者・家族本位の介護姿勢を維持し、施設・設備を有効に活用するとともに、利用者の楽しい日々の生活支援に努めている。
2) 運営推進会議開催状況; 従来は地域関係・家族等を交えて会議を開催しているが、現在は利用者との定例会議に留まり、議事録を関係者に送り、示唆を得ている。
3) 家族の介護への理解; 家族の満足感が高く、職員の真摯な応接・傾聴の態度・きめ細かな応急時の対応と報告等に高い感謝の意向を示している。(アンケート結果等)
4) 地域関係者との連携等; 従来、小学校とホームの行事での相互の参加・交流を重ねてきたが、コロナ禍で地域組織・機関等の直接的関係の維持は困難になっている。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff performance.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念は全職員の目に付く場所に掲示し、定期的に社内研修を行なう事で職員の理解を深めています。	事業理念・方針等は利用者向けパンフレットに明記、所内掲出して、職員相互・家族とともに共有して、最適な介護の在り方を求めて実践し、職員研修にも力を注いでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	例年は小学校の行事に招かれたり、ホーム主催のお祭りなどに参加頂いて交流を深めていましたが、今年度はコロナウイルス感染症の為交流禁止になりました。	従来から、小学校との相互の行事等での交流で、利用者にとって大きな喜びであった。依然として続く感染拡大に、地域との交流ができない状態にあるが、温泉街にある当事業所は地域の理解を求めて活動している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や地域交流の際に認知症についてお話させて頂いていましたが、今年度はコロナウイルス感染予防の為機会がありませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価結果やホームでの取り組みについて報告し、会議での意見をもとにサービスの見直しをしています。	コロナ禍の事情にあつて、利用者を交えた内部関係者で定例開催している。運営上状況報告と共に感染症対策等の課題を纏めて議事録を作成して、関係者に送って示唆を得ている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話や窓口で相談しアドバイスを受け、協力関係を築けるように取り組んでいます。	行政担当者とは、感染症対応の方針や事故報告等の業務報告を基に、担当者と協議して、この困難な事態での運営上の在り方等について示唆を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束廃止委員会や社内研修などで具体的な行為について学び、拘束をしないケアに努めています。	職員は事業理念に応じた介護対応に専念しているが、定例の委員会の開催にあつては、この困難時での介護姿勢や対応の留意すべき事項について、検討を重ねて確認に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に社内研修で学び、適切なケアが出来るように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員一人ひとりが理解を深め、知識を共有出来るように定期的に社内研修を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご家族様やご利用者様が納得されるまで説明を行います。改定の際は書面や口頭で不安や疑問点がないか十分に話し合っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の来訪時や電話、手紙などでご意見やご要望を伺い、職員間で共有し、ケアの見直しに役立てています。	家族の面会を抑制せざるを得ない状況にあることから、多様な機会を大切にして、家族の意向をくみ取り、お便りを定期的に送り、理解を求め、かつ職員間の共有に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議や申し送りなどで職員の意見や提案を聞き、話し合いをし、サービス向上に活かすようにしています。	各フロア会議での、個々の職位に応じた観察結果・意見・提案を受け止めるとともに、課題検討を進め、相互の理解促進を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員がステップアップを目指し、向上心を持って安心して働けるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人ひとりの持っている力や経験などを把握し、働きながらスキルアップしてもらえるように助言しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度の相互訪問や勉強会は、コロナウイルス感染症予防の為、中止となっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。	入所前にご本人様にお会いし、不安な事や要望等を確認しています。その上で安心して快適な生活を送って頂けるように支援します。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めています。	入所前にご家族様と面談し、意見や要望不安な事をお聞きし、希望に沿ったホーム生活を送れるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めています。	ご本人様とご家族様の話しを聞く事で必要とするサービスを把握し、提供出来るように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	食器拭きや洗濯物をたたむなどのお手伝いをして頂いています。利用者様と一緒に考え、意見を出し合いながら、より良い関係を築けるよう心掛けています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時や電話でご本人様の日常の様子をお伝えしたり、ご家族様からの意見や要望を伺い相談させて頂きながら、より良いサービスが提供出来るように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めています。	コロナウイルス感染症予防の為、友人知人との面会、外出や外食等は難しいが、電話でお話したり、職員と馴染みの人の話しをする事で関係が途切れないように努めています。	家族の面会抑制の状況にあって、友人・知人との面対対応・外出・外食も困難な状況。特に、不可欠な家族との良好な関係継続に対して、ホーム運営上も多様な工夫と対応に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めています。	利用者様が孤立しないよう、1人ひとりの性格を把握し、気の合った仲間作りのお手伝いをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もこれまで築いてきた関係を大切に、何か心配事や相談があればいつでも連絡頂けるようお伝えしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中でご本人様に寄り添い、希望や意見を聞くよう努めています。意思疎通が難しい場合は、表情や言葉などで思いをくみ取れるよう努めています。	職員は、思いや意向の把握を入所以来の重要課題として捉え、常に寄り添い、意思疎通に努めている。日常の表情・言動と共に意向の傾聴・受容等の介護の姿勢を大切にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご本人様やご家族様から生活歴などのお話を伺い、職員と情報を共有し、少しでも希望に沿えるように支援します。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態や生活リズムなどを話し合い、ご本人様の暮らしの現状を確認、把握します。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様やご家族様の意向を伺い、モニタリングや担当者会議等で話し合い、適切なサービスを提供出来るよう介護計画を作成しています。	介護計画の変更・作成に当たっては、日頃の家族の意向を含めて、各職員の観察結果・課題等を介護計画作成者を核にして纏めている。新たな計画は家族の承諾を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録には利用者様の暮らしの様子や具体的な言動を個々に記録し、定期的に担当者会議で話し合い、見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力病院以外にご家族様が対応されていましたが、コロナウイルス感染予防の為、同行送迎はホーム職員が行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルス感染症予防の為、地域の方々との交流は難しいがホームにてご本人の意欲が向上し安全で豊かな生活が送れるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前に協力病院へ移行するか、以前からの病院を継続するかご本人様、ご家族様に決めて頂いています。希望される受診や往診が行えるように支援しています。	入所時に、かかりつけ医の支援対応につき協議している。かかりつけ医の受診には家族を支援し、その結果の診断結果の管理を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の体調の変化に留意し早期発見を心掛けています。看護師がいない為、体調が悪い時は協力病院の看護師に相談し助言を頂いたり、受診しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご家族様や病院関係者と連絡を取り合いながら、利用者様に関する情報を提供し、出来るだけ早期退院が出来るよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいます。	重度化、終末期については入所時にお話しています。状態の悪化が予想される場合はご家族様と話し合い方針を決めています。	重度化・終末期対応については、入所時の重要事項説明での説明、契約事項での措置方針に従い、状態悪化に合わせて家族・医療関係者等と協議して対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修などで取り入れています。全職員が初期対応の実践が出来るようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回、日中と夜間を想定し、消防の協力のもと訓練を行っています。コロナウイルス感染症予防の為、地域の方々の参加はありませんでした。	災害対策には日中と夜間の想定訓練を防災官署の指導を得て実施している。職員の役割分担、施設設備点検、備蓄等にも配慮している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人ひとりの人格を尊重し、自尊心を損ねない声掛けや対応を心掛けています。	利用者本位の介護は事業理念。人格・個々の誇り等個別性を損なうことのない介護の姿勢を職員相互で共有した職場づくりに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活で話しやすい環境を作り、ご自身で決定出来るように分かり易くお伝えするよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の性格や体調、状況に合わせて個々のペースに合った生活が送れるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様の希望を聞きながら、季節に合った服装やその人らしい衣服が着られるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌い、アレルギーのある方には好みに合わせて食事を提供しています。職員も一緒に食事をし様子を見守ります。準備や片付けも一緒にしています。	個々の心身の状況を捉え、好き嫌い、アレルギー等に留意した食事の配慮で、楽しい食事の時となるよう努めている。共に食し、共に片付ける和やかなひと時となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの好みや体調に合わせて食事形態を変え摂取しやすいよう配慮しています。毎食の摂取量や水分量は記録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者様の口腔状態に合わせて歯磨きを促しています。不十分なときは仕上げ磨きを援助しています。夕食後は義歯をお預かりし消毒しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	サポートが必要な方には出来る限りトイレで排泄できるよう、定期的に誘導しています。	排泄支援は個々の心身に状況に合わせた自立支援を基本として対応。職員は利用者の状態を共有して、声掛けや促し、スムーズなトイレ排泄支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方には掛かりつけ医に相談し下剤を処方して頂いています。日常的に体操をしたり乳製品を提供するなど、自然に排便が出来るように支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者様の体調や気分考慮し、時間や順番など希望に沿うように支援しています。	入浴支援は午後2時に準備が始まり、利用者個々の心身の状況に添いながら、時間や意向の把握をして、楽しく、安らぎのひと時となるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、夜間はゆっくり休んで頂けるよう支援しています。睡眠状態の確認をする為、定期的に巡視を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬説明書を確認し、副作用、服用方法について把握をしています。服用の際は、職員2名名前や日付を確認をしています。服用後の体調の変化にも気をつけています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時にご本人様やご家族様から趣味や得意な事をお伺いし、個々に合わせた楽しみが増えるように支援しています。外の景色を眺めたり、散歩にお誘いし気分転換を図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染予防の為、外出レクリエーションやご家族様との外出はできていませんが、暖かい日には近隣を散歩したり、ベンチに座りお話をしたりしています。	自然豊かな温泉街にあるホームには、植栽・花畑・散歩道・東屋の中庭があって、喫茶室ではお茶も味わえ、心地よい外気に触れる場となっている。外出支援が困難な中であって、自由なひと時の機会が得られている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人でお金の管理をしている方はいません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様やご友人からの電話を取り次いだり、ご本人様から申し出があればいつでも電話が掛けられるように支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾り付けをしたり、利用者様の作品を飾ったりしています。温度調整を行い快適に過ごして頂けるように努めています。	ホームは3～5階にあって見晴らしよく、介護設備・機能等との利便性も高い。居間と食堂は繋がりが、憩いの場としてゆとりある空間となっている。温・湿・暖・採光の管理もよく、季節・行事に応じた飾り付けなど、利用者にとって和みの環境が整えられている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアでは気の合う利用者様とお話されたり、本を読んだり、思い思い過ごされています。居室では自由にゆっくりと過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご家族様へ使い慣れたものやご本人様の好みの物をもって来て頂けるようお話しています。	居室の環境づくりは家族の協力が不可欠と思われる。利用者個々の好みや馴染の家具・置物等が配置されて、清潔で安心・安全な居室環境にある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室に表札や目印をつけています。個々の出来る事、出来ない事を把握し、出来ない事は職員と一緒にいながら自立した生活が送れるように支援しています。		